

韮高 SS# だより

2013.12.25 発行

みなさん、お久しぶりです。**SSH**です。**2013**も終盤となりましたね。 かなり間が空いてしまいましたが、やっと時間が持てるようになり「**SSH**だより」復活という ことで、また宜しくお願いいたします。

韮高 SSH も 2 年目に突入し、新しい活動が増えてきました。特に 2 年目の大きなテーマが 地域のみなさんと科学をキーワードに交流しよう

ということです。9月には中学生との交流「サイエンスレクチャー」が行われ、地域の中学生 18名と韮高生 28名が科学教室を楽しみました。レクチャーはもう7回目の実施となるので韮高の新しい伝統行事として定着したといっていいでしょう。今年は、物理コース、化学コース、生物コースという3講座での実施という贅沢仕様になりました。(^^)/







物理コース「見るを科学する」

生物コース「DNA 鑑定を体験しよう」

化学コース「熱い冷たい化学反応」

また 10 月には小学生やその保護者のみなさまとの交流「科学きらきら祭り in 韮高」を初めて開催しました。この「科学きらきら祭り」は、韮高生が企画運営に携わる科学実験・科学工作教室です。当日は 15 テーマの実験や工作が体験できるブース (お店)を出し、参加した韮崎地域のおもに小学生に体験してもらおう・・・という活動です。みなさんもよく知っている北館の理科関係の教室が、当日は科学のお祭り会場になったのです。中央のプラザでは、本物の火薬を積んだ「モデルロケット」の打ち上げ実験 3 連発!!! なんていう迫力満点な実験も行いましたね。こういった活動を通して、高校生から小学生に科学の「楽しさ」「驚き」を伝えることが大きな目的です。

高校生と小学生といえば、年齢も 10 歳以上離れている場合もあり、ある意味「世代」が違う集団ということになりますね。私たちの周りには、案外世代を超えた交流ってなかなかないことに気づかされます。その意味では、小学生やその保護者の方々にモノを伝えることは、高校生にとっても「エキサイティング」な体験になり、学ぶことが多いのではないかなと思います。特に驚いたのは、小学生が見せる「純粋な好奇心」です。目をキラキラ輝かせていて・・・「どうして?」「なぜなの?」が至る所で繰り広げられていました。私も「初心」という言葉を思い出しました。企画と当日の運営に関わってくれた生徒お二人に感じたことを書いてもらいました。参加した生徒がそんな風に感じてくれていたのは正直うれしかったですね。

今後も SSH だよりを通じて、生徒たちの声を届けていきたいと思っています。



銀色に輝くボトルをつくりました



火を使わずにどうやって目玉焼きをつくるか



ロケットの発射ボタンを押したいお友達は?



花火ってこうやって燃えるんだあ・・・

「新たな体験」

誰かに何かを教える、ということは予想以上に大変なことでした。先日開催されたきらきら祭り。そこで私はたくさんの小学生に工作の方法をレクチャーしました。このような機会は私にとって初めてのことだったので、うまく教えられるかどうか心配でした。祭りも始まり、私は緊張とともに小学生に工作を



教え始めました。一人、また一人と教えていくうちに緊張もほぐれ、教えることが楽しくなっていきました。完成した作品で楽しそうに遊んでいる小学生を見ると、私は大きな達成感に包まれ、このような機会に参加できてよかったと思いました。SSH のこのような体験を通して自信や力を身に付け、新たな自分を見つけていきたいと思います。 (1年7組21番 三森永士)

「伝える側」

きらきら祭りで私がお手伝いしたのは「人工いくら」をつくること、「酸とアルカリで和紙を 染める」ことです。酸とアルカリって理科で1度学習しましたよね。でも、祭りに訪れた小学 生の中には、まだ習っていない子もいました。そんな時は、「すっぱいものに..」「石けんに入 っている..」と、彼らの立場を考えて言葉を変える必要がありました。けどそれは決して大変



なことではなく、子ども達が自分の話を聞いて「えぇーー!!?」とか「そうなんだぁ」といったリアクションを返してくれるのが嬉しくて、一緒に実験するのがとても楽しかったです。歳の違う相手と同じ目線にたって話す大切さを感じました。 (2年7組36番 守屋アンパトリス)

「SSH は可能性を見せてくれる」

1年7組 中田 真寛 (明野中学校出身 ソフトテニス部)

SSHでは他校では学べない、指定校だからこそできる、専門的な科学を講座や、サイエンスツアーを通して学ぶことができます。アドバンス講座では、大学の講師を招いて、最先端の研究や技術の講義を受けます。ワインの科学、DNA、里山の生態系、太陽光発電など、様々な分野の学習をしてきました。身の回りにあるつい見過ごしてしまうようなモノ・コト,自分が何気なく行っていることを科学的に考えることのおもしろさを知りました。科学が苦手な私でも、興味のある分野を見つけられ、科学が好きになりました。理系・文系関係なく科学に対する関心が強まり、論理的に考えたり、仲間と研究をする中で将来、必ず役に立つ力もつけられます。SSHは私たちを成長させ、多くの可能性を見いだしてくれると思います。

「興味を持つことのすばらしさ」

2年7組 飛田 早紀(韮崎西中学校出身 吹奏楽部)

私は SSH で理科の面白さを学びました。SSH では、理科の先生方がとても分かりやすく授業を行ってくださるので、専門の大学の先生の講義でも理解できることがとても多いです。理解できると、まったく興味のなかった分野でも「おもしろそう!」と思え、その分野に関連したところも面白く、『理科』という全体に興味がもてるようになりました。SSH を体験して 1年半以上たった今では、進みたい進路の理由も SSH で学んだことで面白そうと思ったからです。私は、SSH のおかげで自分の将来の可能性を広げることができました。SSH は大変だと思うこともありますが、それ以上に有意義なものです。SSH を体験できて、本当によかったです。